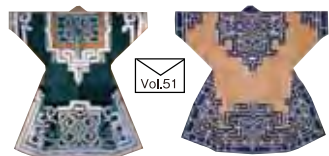


ゆうこみゆき。



なるほどアイヌ文化トーク ソッコ de ソッコ

アイヌ文化にどっぷり浸って生きてきた
本田優子(札幌大学副学長)と
村木美幸(アイヌ民族博物館専務理事)が、
その魅力をソッコ(=お便り)形式で語り合います。



今月のテーマ **ウレクレク(なぞなぞ)**



シケペ
(キハダの実)

イラスト/安田千夏

「レタラセタ ウコイキフ ヘマンタ
アン(白い犬がケンカしてるものなあ
に)?」答えは「ミマク(歯)」。上下の
歯がぶつかりあうから…なるほど。

アイヌ社会にもたくさんさんのウレクレク(なぞ
なぞ)がありました。私が好きなのは、アトウイ
カタ タム スイテラ ヘマンタアン(海の上で
刀を振るものなあに)?」初めて聞いた時には、
「海賊?」って思ったけど、答えは「イメル(稲
妻)」。大海原、垂れ込める暗雲のあちこちで、ま
ばゆい光の刀剣が振り下ろされる光景が目
浮かび、スケールの大きさに感動したっけ。

なかには、これぞアイヌ民族のなぞなぞって
感じのものもあるの。たとえば「木の上において山刀
を呼ぶものなあに?」答えは「シケレペ(キハダ
の実)」。キハダの木の内皮は黄蘗おうびやくという重要な
漢方薬で、いろいろな民族が利用しているけど、
アイヌの人たちは実もアイヌ料理に欠かせない
香料として使っていました。このなぞなぞによ
れば、その大切な実は「あなたの山刀で早く私
を採ってー」と人間を呼んでいるんですって。こ
れは、あらゆるカムイたち(神々)はなんらかの
役割をもつて人間界に下ろされてきていて、いつ
も人間の役に立ちたいと願っているんだって
いう考え方に基づいているの。アイヌの世界観を
理解していない限り、絶対に解けないよね。



うん、アイヌ文化を少しかじった程度ではウ
レクレクは難しいよね。クイズは知識が必要で
すが、なぞなぞは発想というか想像力や推理
力、観察力も必要。もちろんウレクレクにはア
イヌ語力も必要なので私は苦手ですが。

アイヌ語教室でチセ(伝統家屋)を使ってウ
レクレクをした時、唯一答えられた問題が「ケシ
トケシトセトウルセセツカワアンペヘマン
タ アン?(毎日、毎日、背中あぶりをしている
もの何?)」。答えは「イヌンペ(炉縁)」。囲炉裏
で火が焚かれていたことと、「チセの中のもの
」というヒントがあったから。

「ヒント」って重要ですよ。チヤロ カイイ
サムシキ カイイサムテケ カイイサムチキリ
カイイサムホートクセワアンペネフネヤ?
(口もなく、目もなく、手もなく、足もなく、お腹
が膨れているもの何?)。この問題だけだと答
えを想像するのって難しいけど、「食べ物」とい
うヒントがあると答えを絞れるし、二つ、三つと
ヒントが増えればより簡単になって誰もが参加
できるよね。その場の状況や解く側の力量をふ
まえて問題をつくれれば皆が楽しめる。ちなみ
に答えは「チカブノク(鳥の卵)」でした。

問題の後の「これ、なんんだ?」って、
アイヌ語だと「ヘマンタ アン?」や「ネフ
ネヤ?」ですよ。

